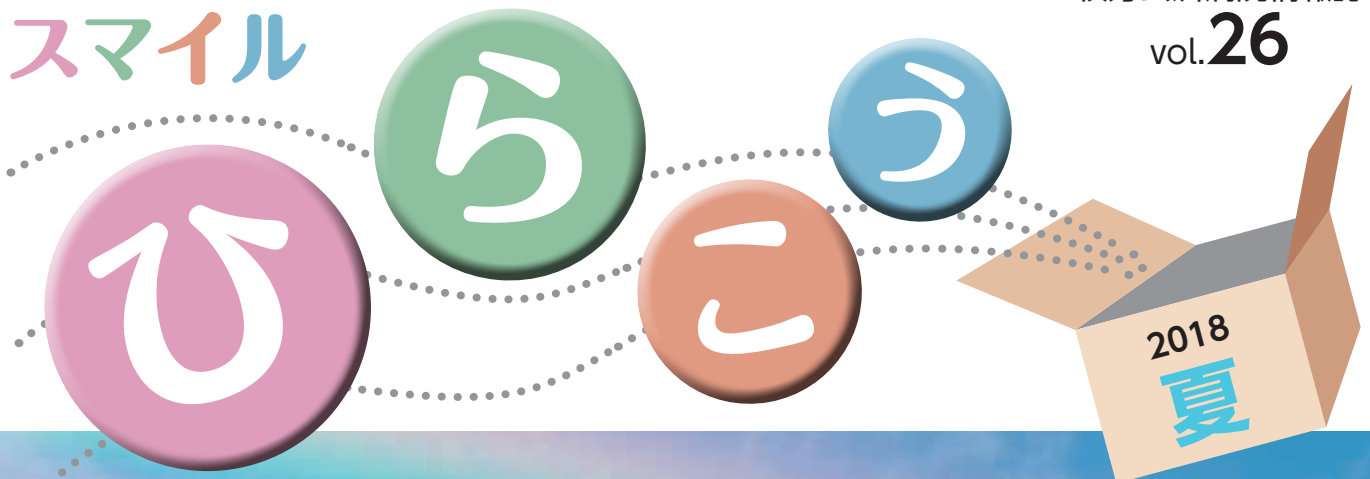


スマイル



HCVキャリア・C型慢性肝炎・C型代償性肝硬変患者さまご紹介のお願い／内科系ERのご案内／
心不全再発予防への取り組み／注射薬混注監査システム-AddDisを導入／認定看護師通信／
Information

HCVキャリア・C型慢性肝炎・C型代償性肝硬変 患者さまご紹介のお願い

拝啓

初秋の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、枚方公済病院消化器内科ではC型慢性肝炎、代償性肝硬変をはじめとする肝臓疾患の治療に積極的に取り組んでおります。C型慢性肝炎は日本で約120万人のキャリアがいることが報告されており、治療せず放置していることで肝硬変や肝不全へと進行する恐れがある疾患です。

近年のC型慢性肝炎治療では、代償性肝硬変治療は日々進歩しており、最近ではインターフェロンを必要としない経口剤のみで治療がおこなえる薬剤が登場してきております。治療期間の短縮、95%以上の著効率、高い安全性を示す薬剤により、現在のC型慢性肝炎、代償性肝硬変治療は“Care”する時代から“Cure”させる時代へと進化しております。

当科でもこうした抗ウイルス療法を中心とした薬物治療を積極的に取り組んでおり、肝不全や肝細胞癌の進行予防に最大限努めております。

HCV抗体が陽性の全ての患者さま（GOT,GPTが正常でも）治療の適用になり得ますので一度当科受診をご提案下さい。

ご紹介に際しては当院地域連携室が窓口となっております。「予約申込票」に必要事項をご記入の上、診療情報提供書とともにFAXにてお申し込み下さい。

※「予約申込票」は当院ホームページ→地域連携（医療関係者さまへ）→患者さんをご紹介いただく場合、よりダウンロードすることもできます。

月～金いつでも当科外来診療可能ですが、肝臓専門外来は月・木でございます。

地域医療連携室

予約専用：FAX (072) 808-0020 TEL (072) 808-0010

受付時間：月～金 8：45～20：00

土曜日 9：00～13：00

敬具

国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 消化器内科

内科系 ER のご案内

* 内科系 ER は 24 時間 365 日対応しております *

ホットライン：070-6684-3360（医療機関専用）

月曜日：消化器内科

吐血による
緊急内視鏡検査可能

火・金曜日：消化器外科

緊急手術対応可能
消化管穿孔・腸閉塞・胆嚢炎・虫垂炎
などの急性腹症

救急外来が混雑している場合は、お待ちいただくことや、救急度により診察の順番が前後する可能性もございます。予めご了承くださいませよう、ご理解ご協力の程お願いいたします。

※脳神経外科、産婦人科、小児科などの救急対応はできません。

枚方公済病院 地域医療連携室 TEL. 072-808-0010（直通）

月～金曜日：8時30分～20時 土曜日：9時～13時

※上記以外は病院代表 072-858-8233 へご連絡をお願いします。

心不全再発予防への取り組み



心不全患者さんの二次予防を目指して、心不全ホームケア勉強会を開催しています。



高齢化が進み心不全患者さんは増加することが見込まれています。また、心不全は再入院が多く、再入院予防が課題となっています。心不全再入院の課題については、病院だけで解決できるものではなく、在宅医療スタッフとの連携が必要であると考えました。

2017年の11月から勉強会を開始し、現在5つの事業所と連携し勉強会を実施しています。当院から患者さんに渡しているレインボー手帳の活用法など、症例を通して多くの事を学ばせていただいています。

ご興味のある方は下記メールアドレスに連絡を頂けたらと思います。

E-mail : hirako.sinriha@gmail.com



注射薬混注監査システム -AddDis を導入

医療、保健衛生の進歩により高齢化が進み、がん患者が増加しています。先進医薬品の開発により多様化された抗がん剤治療が行われている中、治療計画を安全に実施するためには薬剤師がレジメン管理・処方内容の確認・無菌調製・服薬指導を行う事が不可欠です。当院では外来、入院全ての抗がん剤調製を薬剤師が行っています。私たちは安全かつ適正に調製を行うため、昨年より株式会社 TOSHO が開発した**注射薬混注監査システム -AddDis**を導入しました。

注射薬混注監査システム -AddDis

このシステムはバーコード認証による薬剤の照合機能を持っています。

医師が電子カルテに処方を入力し、薬剤師による処方チェックが完了した内容が調製監査システムへ送られます。送られてきたデータにこれから調製に使用する薬剤 (A) をバーコードリーダー (B) でスキャンし、間違いの有無を確認します。シリンジに抜き取った採取液量 (C) を電子天秤 (D) で量り、採取液量に間違いがあれば警告メッセージが表示され、調製者へ知らせることで薬剤師一人でも安全に調製を行うことが可能となっています。また、調製

後には調製前後の重量差の理論値と実測値が記載された調製記録レシートも発行され、第三者による事後監査も可能であり安全が担保されるシステムです。

電子カルテとこの調製監査システムが連動した、4月以降の4ヶ月間で調製過誤は起きていません。今後はこのシステムに処方監査機能(薬剤師の知識だけでなくシステム機能を取り入れた処方チェック)を導入し、さらなる医療安全への貢献を進める予定です。

薬剤科・外来がん治療認定薬剤師 山本 浩之



製剤室 (混合調製室) の写真



認定看護師通信



活動報告

慢性心不全の治療の一つとして、心臓リハビリがあり継続していくことで再入院予防にも繋げることができます。多くの心不全患者が入院中に心臓リハビリを行います。退院後は通院が難しく外来リハビリが継続できない患者さんも多くいます。また、外来リハビリにも制限があり、当院を終了後の受け入れ先がなく継続できないなどの現状があります。

そこで、心臓リハビリ室では在宅に繋ぐために「心不全ホーム勉強会」の開催を企画しました。近隣の訪

問看護師や在宅リハビリのスタッフと情報交換を行う中で連携を深めていきたいと考えています。

5/17に第4回の会が開催され、34名の参加がありました。

当院を退院し、デイサービスにてリハビリを継続している患者の報告があり、レインボー手帳による医療者の連携についても紹介されました。

慢性心不全看護認定看護師 原谷 こずえ



事例紹介



受付



リハビリスタッフでお出迎え



意見交換

カフェセミナー、今年も開催!



今年は8月から開催します。
アンケートの結果から、時間帯をお昼のランチ形式にしたいと考えています。
みなさま奮ってご参加ください!



Information

● 病院案内パンフレットをリニューアル!

プロのカメラマンによる撮影とプロの雑誌記者による構成で病院案内パンフレットをリニューアルいたしました!
同封しておりますのでご一読ください。





認定看護師の豆知識

AMR 対策いきまあーす！

厚生労働省は、平成 29 年 9 月 29 日付で、**薬剤耐性 (AMR; Antimicrobial Resistance)** 対策の啓発のために、『機動戦士ガンダム』とコラボレーションし、ポスター・リーフレットを作成しました。



<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000179184.html>
機動戦士ガンダム ©創通・サンライズ

薬剤耐性 (AMR) とは？

抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。

抗菌薬が効きにくい菌を薬剤耐性菌と言います。耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなることから、これまで、感染、発症しても適切に治療すれば軽症で

回復できた感染症が、治療が難しくなって重症化しやすくなり、さらには死亡に至る可能性が高まります。この薬剤耐性菌は世界中で増えています。今の増え方で、何も対策を行わないと、2050 年には世界中で年間 1000 万人が死亡する（現在のがんによる死者を超える）と想定されています。もし、**世界のどこか 1 か国で耐性菌による感染症が流行した場合、人や物の交流を通じて世界に拡大するおそれがあります。**薬剤耐性 (AMR) の拡大を防ぐには、国際的な取組が必要です。我が国でも平成 28 年 (2016 年) 4 月に取りまとめた「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン 2016-2020」^(※) に基づき、下記の 6 つの分野において薬剤耐性対策に取り組んでいくこととしています。

感染管理認定看護師 藪内 晃子

各分野内線番号

救急看護：村上 8863
慢性心不全看護：原谷 8154
がん化学療法看護：正木 8698
感染管理：藪内 8623
皮膚排泄：大西 8397
認知症看護：藤原 8667
集中ケア：堀内 8676 または HCU1301



分野	目標
普及啓発・教育	国民の薬剤耐性に関する知識や理解を深め、専門職等への教育・研修を推進
動向調査・監視	薬剤耐性及び抗微生物剤の使用量を継続的に監視し、薬剤耐性の変化や拡大の予兆を適確に把握
感染予防・管理	適切な感染予防・管理の実践により、薬剤耐性微生物の拡大を阻止
抗微生物剤の適正使用	医療、畜水産等の分野における抗微生物剤の適正な使用を推進
研究開発・創薬	薬剤耐性の研究や、薬剤耐性微生物に対する予防・診断・治療手段を確保するための研究開発を推進
国際協力	国際的視野で多分野と協働し、薬剤耐性対策を推進

理念と基本方針

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】 JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】 長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】 JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】 藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】 京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】 枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※長尾駅より無料直通シャトルバスを運行しております。

（詳細は当院ホームページをご参照ください）



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号

TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093

<http://kkh-hirakoh.org/>